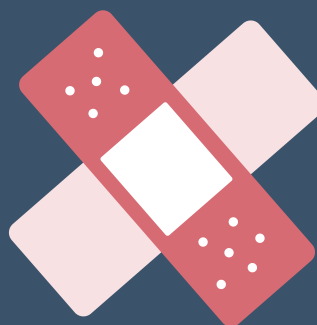
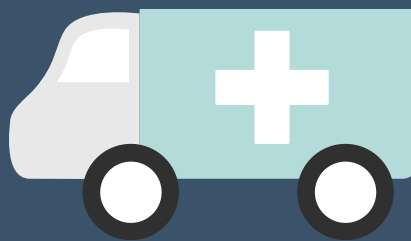




会員限定
ZOOM研修
参加費無料！
先着100名まで



2020年度 全国精神障害者地域生活支援協議会 あみ
オンライン研修会 第2弾

日本の精神医療を ～もし私がこころの病になったら～ 考える

2021年5月14日(金)
14時～17時半 (受付13時半)

申込先：(あみ事務局) E-mail info@ami.or.jp

申込締め切り 5月7日(金)

ZOOM研修の流れ

(入室可能な時間 13:30～15:30 終了17:30)

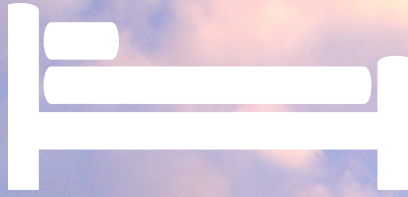
- 14:00～14:10 ZOOM操作説明、参加にあたっての留意事項
- 14:10～14:15 開会挨拶
- 14:15～15:15 第1部「日本の精神医療の課題と地域生活支援」
講師 渡邊 乾 氏 訪問看護ステーション KAZOC 代表
地域生活を送っている当事者との対談
- 15:15～15:30 質疑応答(チャットによる受付)
- 15:30～15:45 休憩(ZOOMでの入室を終了)
- 15:45～16:45 第2部「私宅監置」～沖縄の精神医療の歴史から～
講師 原 義和 氏 (フリーTVディレクター)
- 16:45～17:15 質疑応答(チャットによる受付)
- 17:15～17:20 全国大会のお知らせ
- 17:20～17:30 閉会挨拶

留意事項

下記を明記の上、事業所のメールで事務局までお申し込みください。

- ・会員事業所名と申込者のお名前(または賛助会員名)
 - ・連絡先のお電話番号
- お申し込みは、会員事業所単位でお願いします。

複数名でご参加を希望される場合は、それぞれのお名前とメールアドレスを記載してお申し込みください。
完了後、研修参加のためのミーティングIDとパスコードをメールにてお送りします。



世界の病床数の5分の1が 日本の精神科病床数であること さらに先進国の中で精神科病院 の入院期間がいちばん長いこと ご存知ですか？

日本国民の5人に1人は一生の間に何らかの精神疾患になる状況です。普段の暮らしの中で、身近な医療サービスとして精神科医療が必要な時代になりました。だからこそ「日本の精神科医療」について考えてみませんか？



渡邊乾/作業療法士

オンライン研修会 日本の精神医療を考える 講師 紹介

都内の精神科病院に就職し、日本の精神科医療の現実を知る。病院とすったもんだし窓際族として過ごす。浦河べてるの家、イタリア・トリエステを視て地域支援を志す。福島県相双地区の復興プロジェクトに参加し、精神科病院を出る事を決意。2013年に精神科訪問看護ステーションKAZOC（かぞっく）を開設。同時にホームレス支援をするハウジングファースト東京プロジェクトに参加。ホームレス状態を経験した人の中で、精神疾患を持った人たちの在宅生活を維持継続する役割を担っている。現在、オープンダイアログ押し。剣道5段。



原 義和 フリーTVディレクター

1969年愛知県名古屋市生まれ。2005年より沖縄を生活拠点にドキュメンタリー番組の企画制作を行う。東日本大震災の後は福島にも通って取材し、Eテレ「福島をずっと見ているTV」などにディレクターとして参加。主な制作番組は「戦場のうた～元“慰安婦”の胸痛む現実と歴史」（2013年琉球放送/2014年日本民間放送連盟賞テレビ報道番組最優秀賞）、「インドネシアの戦時性暴力」（2015年7月TBS報道特集・第53回ギャラクシー賞奨励賞）、「Born Again～画家 正子・R・サマーズの人生」（2016年琉球放送/第54回ギャラクシー賞優秀賞）、「消された精神障害者」（2018年EテレハートネットTV／貧困ジャーナリズム賞2018）など。著書に「消された精神障害者」（高文研）、編書に「画家 正子・R・サマーズの生涯」（高文研）。映画「夜明け前のうた～消された沖縄の障害者～」監督